

Hachioji MAIL NEWS



輸送サービス労組八王子地本



2024.08.26

No.011



八地申
第2号

2024年
8月21日

**「安全第一の鉄道を創り出し、
働きがいの持てる職場環境と
利用者が信頼できる鉄道会社を構築する申し入れ」
提出！！**

2024年7月20日、輸送サービス労組八王子地本は「第6回定期大会」を開催し、誰もが「安全第一」「働きがい」「労働条件の向上」を実感できる職場の労働環境を創り出すことを確認してきました。

大会の中では「事故・事象が絶えず、当事者だけの問題にされている」「統括センター化の一番の課題は要員問題である」「年配者には冷たい会社である」「休日出勤ありきの業務・勤務体系である」「ジョブローテーション施策によりモチベーションが保てない」など、職場では安全風土をつくるのが社員任せであり、現場で働く社員の努力で要員の問題を解決せざるをえない職場環境の中、社員は疲弊していると多くの発言がありました。私たち鉄道事業者は公共交通機関の使命を果たす為に、「安全性」「専門性」を重視した、教育・訓練等による安全文化を創り出していくことが欠かせません。

しかし、職場では「融合と連携」を推し進めるがあまり、納得感・公平感が持てず「帰属意識」のない社員による「利己主義」が蔓延し、技術・技術継承ができていない実態があります。現場社員の「働きがい」「生きがい」「こころの豊かさ」を実感できる職場環境の再構築のために下記の通り申入れますので、会社の真摯な回答を要請します。

申し入れ項目

1. 「新たなジョブローテーション」施策実施に伴う異動が、本人の希望・実態にそぐわないものになっていることや、現場管理者からの意識付けが異動者に寄り添ったものになっていないことにより、心身の不調をきたし、労働意欲・モチベーション低下による働きがい・生きがいを喪失している社員が散見され、経験労働を重視すべき鉄道事業の「安全性」「専門性」を脅かす事態になっていることから、同施策を直ちに撤廃すること。